

聖人と申すは委細に三世を知るを聖人と云ふ。儒家の三皇・五帝並びに三聖は但現在を知りて過・未を知らず。外道は過去八万・未来八万を知る。一分の聖人なり。小乗の二乗は過去未来の因果を知る。外道に勝れたる聖人なり。小乗の菩薩は過去三僧祇の菩薩、通教の菩薩は過去に動踰塵劫を經歷せり。別教の菩薩は一々の位の中に多俱低劫の過去を知る。法華經の迹門は過去の三千塵点劫を演説す。一代超過是なり。本門は五百塵点劫・過去遠々劫をも之を演説し、又未来無数劫の事をも宣伝す。之に依って之を案ずるに、委しく過・未を知るは聖人の本なり。教主釈尊は既に近くは去って後三月の涅槃之を知る。遠くは後五百歳広宣流布疑ひ無きものか。若し爾れば近きを以て遠きを惟ひ、現を以て当を知る。如是相乃至本末究竟等是なり。

後五百歳には誰人を以て法華經の行者と之を知るべきや。予は未だ我が智慧を信ぜず。然りと雖も自他の返逆・侵逼、之を以て我が智を信ず。敢へて他人の為にするに非ず。又我が弟子等之を存知せよ。日蓮は是法華經の行者なり。不輕の跡を紹繼するの故に。輕毀する人は頭七分に破れ、信ずる者は福を安明に積まん。

問うて云はく、何ぞ汝を毀る人頭破七分無きや。答へて云はく、古昔の聖人は仏を除きたてまつりて已外、之を毀る人頭破但一人二人なり。今日蓮を毀皆する事の非は一人二人に限るべからず。日本一国一同に同じく破るゝなり。所謂正嘉の大地震文永の長星は誰が故ぞ。日蓮は一閻浮提第一の聖人なり。上一人より下万民に至るまで之を輕毀して刀杖を加へ流罪に処するが故に、梵と釈と日月四天と隣国に仰せ付けて之を逼責するなり。大集經に云はく、仁王經に云はく、涅槃經に云はく、法華經に云はく。設ひ万祈を作すとも日蓮を用ひざれば必ず此の国今の壱岐・対馬の如くならん。

我が弟子仰いで之を見よ。此偏に日蓮が尊貴なるに非ず、法華經の御力の殊勝なるに依るなり。身を拳ぐれば慢ずと想ひ、身を下せば経を蔑る。松高ければ藤長く、源深ければ流れ遠し。幸いなるかな楽しいかな、穢土に於て喜樂を受くるは但日蓮一人なるのみ。